

令和4年度 入学試験問題

小論文

(芸術・スポーツ文化学科スポーツ文化専攻アウトドア・ライフコース 一般選抜 (前期日程))

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開かないこと。
- 2 この問題冊子は、表紙を含むページ番号1から3までの3ページです。解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚あります。
- 3 「問1」「問2」すべてに解答すること。
- 4 解答用紙は、「問1」「問2」とともに1枚あります。
- 5 解答は横書きとし、句読点および段落の空白も1文字とし、指定された字数内でまとめること。ただし、題・氏名は記入しないこと。
- 6 受験番号は、解答用紙の指定欄に記入すること。
- 7 解答用紙2枚を提出し、問題冊子・下書き用紙は、試験終了後持ち帰ること。なお、いかなる理由があっても解答用紙以外は受理しません。
- 8 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

問題 次の文章を読み、後の問1と問2に答えなさい。

猛暑の夏、日本でも街角で、会議室で、教室で、ペットボトル入りの水を飲む光景が当たり前になりつつあります。日本でボトル入りの水の消費量が大きく伸びたのは、1997年でした。一人当たり年間消費量にすると、1986年には0.7リットルに過ぎなかったのが、1996年には5リットル、2006年には18.4リットルという急速な伸び率です。消費者は若い人に多く、水道水をまったく飲まない人もいることを考えると、この消費はもっと伸びると思われれます。

世界でもっとも多くボトル入りの水の消費を誇っているのはアメリカですが、かつてはアメリカも日本と同じように、水道水に対する信頼が高かったのです。1970年代後半から、大手企業がボトル入りの水売り出すようになり、1980年代以降に急激に消費量がのびています。そして、2003年には、ボトル入りの水は、飲料品のなかで2位の売り上げを占めるにいたっています（1位は炭酸飲料）。ビールやコーヒー、牛乳、ジュース類などを抜いたのです。今では、ボトル入りの水しか飲まない人が、アメリカの人口の5分の1にのぼっています。

しかもアメリカでは、A社、B社、C社の3社で、ボトルド・ウォーター（ボトル入り水）市場の50%を占めています。皮肉なことに、消費者の自然志向やダイエット志向が、これら大手企業の取組みに拍車をかけたのです。

食品産業として世界的なA社にとっても、ボトル入り水は重要な商品です。A社をはじめとする大手の飲用水企業は、米国で成功したことを、成長するアジア市場でも再現しようとしています。

世界では、今も飲料として清潔な水の入手が困難な人びとが11億人いると言われており、中国、インドなどにも、必要な一杯の水を得るために、苦勞している人が多くいます。ボトル入りの水は、これらの国々にごく一部の富裕層にしか、水問題の解決をもたらしません。

A社は「K」という独自ブランドを、途上国向けの商品として1999年にパキスタンで初めて売り出し、ついでブラジル、メキシコ、中国、タイ、ナイジェリアで販売しています。同社はパキスタンの美しい町、ラホールで、地下水をくみ上げて「K」をつくっています。パキスタンでは、地下水のくみ上げに関しては、いかなる規制も受けないのです。

同じようにボトル入りの水の消費が急速に伸びているインドでは、ケララ州パンチャダヤで、2002年に、すでに地下水の枯渇という問題が顕在化しています。B社が6つ以上の井戸を掘削し、そこに電動ポンプを備えつけて、何百万リットルもの地下水をくみ上げたために、地下水の水位が恐ろしいほど低下してしまったのです。その結果、州政府が住民の生活用水や農業用水として設置した260の井戸が、枯渇してしまったのです。

ケララ州は「米どころ」として知られていますが、収穫量が10%減りました。地下水の枯渇という問題だけではなく、B社が排水を地中に流したため、周辺の地下水の汚染問題も発生し、住民の訴えを受けて、ついに州政府がB社に地下水のくみ上げを禁じました。

出典：井上礼子「水の商品化は何をもたらしたか 世界のボトル入り水事情」、農山漁村文化協会『食農教育』11月号、2007年、pp.52-53、一部改変

問1 この文章を 550 字以上 600 字以内に要約しなさい。 (100 点)

問2 この文章を読んで、「ボトル入り水」についてのあなたの意見を 550 字以上 600 字以内で書きなさい。 (100 点)